



Rotary

茂原中央ロータリークラブ 会報



**イマジン
ロータリー**




クラブ創立 1993. 1. 12
 例会日 毎週火曜日/点鐘 12:30
 例会場 茂原卸団地組合会館
 事務局 TEL 0475-26-1515
 FAX 0475-26-1516
 Email lmobarach.rc@gmail.com
<http://mobarachuo-rc.com>





会長 武田大輔 幹事 飛留間和紀

★ ジェニファー E. ジョーンズ RI 会長
 ★ RID2790 小倉 純夫 ガバナー
 ★ 第7グループ 平野 一隆 ガバナー補佐



第31巻 通巻第1326号 第9号 例会通回第1331回
 ★クラブ会報委員長 片岡 太 ★副委員長 横堀 喜一郎

本日の例会プログラム
令和4年10月4日
(地域社会の経済発展月間 / 米山月間)

点 鐘	ソング	武田 大輔 会長 四つのテスト
会長挨拶	幹事報告	武田 大輔 会長 飛留間和紀 幹事
委員会報告	出席報告	ニコニコ 担当委員会

9月27日例会

会長挨拶 武田 大輔 会長

皆さん、こんにちは。だんだん秋らしい季節を感じられるようになってきて、朝晩は肌寒くもなり気温の変化で体調を崩さないように皆さんお過ごしください。

本日ガバナー補佐訪問に平野ガバナー補佐、浅野ガバナー補佐幹事にお越しいただき誠にありがとうございます。後ほど貴重なお話や情報交換などもいただきたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。

先週の挨拶で台風14号のお話をさせていただきましたが、先週末にもう次の台風15号が上陸してしまいました。大雨により静岡県での被害がかなり多く、床上浸水、道路の通行止めや断水、亡くなった方2名出てしまったとのこと。私も祖母が静岡の生まれなもので焼津市に親戚がおりますので確認したところ浸水等もなく大丈夫とのことでした。この辺りも2019年の大雨災害で、この会員の中にも被災された方もいまして、自然のこと

とはいえ命を落とされてしまった方には謹んでご冥福をお祈りしたいと思います。また被災された方達には心よりお見舞いを申し上げます。

それではガバナー補佐の貴重なお話を聞かせていただけるということなので会長挨拶は以上とさせていただきます。ありがとうございました。

幹事報告 飛留間 和紀 幹事

●地区(回覧)

- ①小倉純夫ガバナー事務所より、ガバナーノミニー・デジグネート(2025-26年度ガバナー)の公表について
ガバナーノミニー・デジグネート
(2025-26年度ガバナー)

氏名:時田 清次

所属クラブ:市原中央ロータリークラブ

- ②浦安ロータリークラブより、外部卓話開催のご案内

卓話者:齋木 昭隆 様

- ③ロータリー財団統括委員会より、9/17開催ロータリー財団セミナーZOOMに関するお詫び

- ④一般財団法人比国育英会バギオ基金より、バギオだより第92号(2022年9月号)

- ⑤ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会より、風の便りVo1.8 No2(通刊96号)

- ⑥RLI推進委員会より、第3回ブラッシュアップ研修会のご案内

日時:2022年11月12日(土) 13時15分
 登録開始 13時15分 開講 13時30分
 場所:千葉市民会館 お申込み10月25日迄

●例会案内(回覧)

特になし

●会報受信(回覧)

活動計画書:成田空港南RC・大網RC
 大多喜RC・東金RC

- その他 (回覧)
特になし

ビジター

浅野 吉朗 ガバナー補佐幹事
(大原 RC)

ガバナー補佐 クラブ訪問

ガバナー公式訪問前「ご挨拶」

「公式訪問に際しての AG からのお願い」



国際ロータリー第 2790 地区
2022-2023 年度
第 7 グループ ガバナー補佐
平野 一隆 様

22-23 年度も 3 ヶ月が過ぎようとしています。これまで 2 回の会長幹事会が開催され、私からは、ガバナー・地区・各委員会からの要望要請お知らせ等をお伝えし、各クラブのご意見を伺ってきました。今後も同様に努めてまいります。

その他の大切な役目として“情報研修会”と“IM”の企画及び開催を、大原ロータリークラブのサポートを得て行う予定です。グループ内会員にとって有意義なものとするべく努力いたしますので、皆様のご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

さて、本日は「ガバナー公式訪問」にあたり、その事前準備を含めたガバナー補佐訪問としてお邪魔をいたしました。この場をお借りし、ガバナーの公式訪問に対しての考え方をお伝えし、特に当日の“クラブ協議会”の内容についてのお願いをさせていただきます。

ガバナーは、クラブ協議会において、従前の活動計画書を基にしたクラブ各部門からの発表をさせていただくよりも、「元気なクラブづくりのための具体的な方策」について協議をしたいとおっしゃっています。

そこで私からクラブ協議会の進め方について提案させていただきます。

まずはクラブ側から誇れる点・問題点なども含めて下記事項を発表いただく

- 1 会長によるクラブ運営方針・目標・特徴・課題 等
- 2 元気なクラブになるための具体的な方策
- 3 クラブ内研修についての具体的な方策
- 4 その他 (例会・親睦活動・会員増強・社会奉仕)

その一つ一つについて、ガバナーとの意見交換を進めていくこのようにできれば、充実した協議会となるのではないのでしょうか。

どうぞ、公式訪問前にクラブ全体でご協議いただき準備をお願いいたします。

出席報告

例会日	会員	出席	MU	欠席	免除	出席率%
9/27	27	17	3	7	1	76.92
9/13	27	16	4	7	1	76.92

10 月 行事予定

10/04 (火)	理事会 11 時 30 分・通常例会
10/11 (火)	小倉純夫ガバナー公式訪問 (茂原中央 RC・大網 RC 合同訪問) 会場「茂原卸商業団地協同組合会館」 例会 12:40~13:40 協議会 13:50 誕生祝 4 名 (生松会員・中村会員・飛留間会員・村田会員)
10/18 (火)	振休 (地区大会)
10/25 (火)	夜間移動例会

米山月間の由来

国際ロータリー理事会が指定したロータリーの特別月間に加え、日本独自の月間テーマとして、10 月は米山月間となっています。

なぜ、10 月なのでしょう？ 1975 年 8 月、米山梅吉翁が逝去した 4 月 28 日までの 1 週間を「米山週間」とすることが決定しました。ある地区ですで行われていた強化活動を全国へ広げ、米山奨学事業を促進することが目的でした。しかし 1980 年度になると、米山週間は 4 月から 10 月 1 日~7 日へと変更されました。その理由はいくつかあります。一つには「ロータリー雑誌週間」が 1978 年度から 4 月となり、重なってしまったこと。また、4 月では各クラブへ送付される事業報告書などの資料数字が約 1 年前のものとなることや、採用されたばかりの奨学生に卓話を依頼することに無理がある、交通機関のストライキが多い、など現実的な支障があったためです。そして何よりも、東京 RC による米山基金から日本全地区クラブの共同事業とする決議や合意が行われた地区大会が、いずれも 10 月 だったこと、これが大きな理由とされています。1983 年からは週間制度が「月間」となり、10 月が米山月間として定着し、今に至っています

(「ハイライトよねやま」より抜粋)

